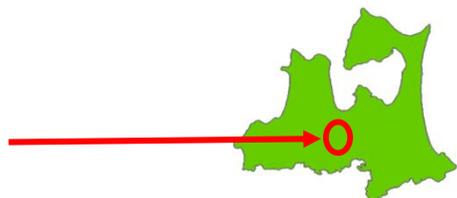


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28~29年度:計画作成主体:黒石市農業再生協議会) (青森県)

取組の概要

- 対象品目 : 露地野菜(レタス・ハクサイ・キャベツ)
(産地面積24ha)
- 主な取組主体: 有限会社サニタスガーデン
櫻田 行雄
- 成果目標 : 生産コストの10%削減
基準(H27年度)367,163円/10a
目標(H30年度)330,250円/10a
- 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)
(トラクター・全面マルチャー・移植機 各1台)
(ブームスプレーヤー 1台)

青森県
黒石市
沖揚平・中野地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

当地区は、標高が高く冷涼で昼夜の寒暖差が大きい気候にあり、レタス・ハクサイ・キャベツ等の露地野菜の栽培に適しています。

こうした栽培環境の中で今後の経営発展を考えた時、生産性の向上と規模拡大は必須であり、そのためには作業精度の向上と生産性の改善によるコスト低減を実現することが課題となります。

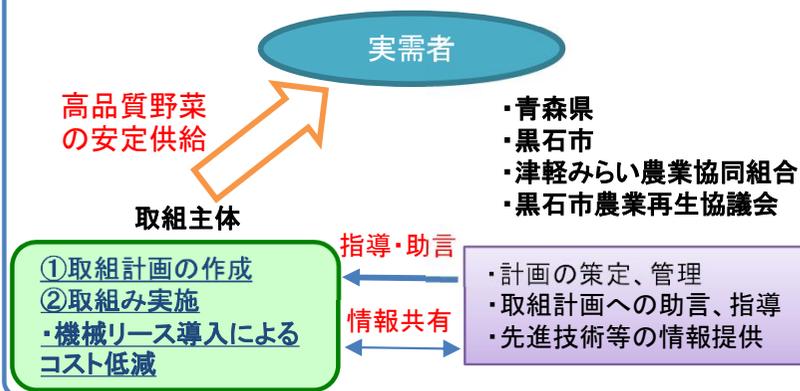
課題解決に向けた具体的な計画としては、トラクタ、マルチャー、移植機、ブームスプレーヤーの高性能機械の新規導入です。

これにより、傾斜地の多いほ場において作業性の精緻さに格段の向上が見込まれるとともに、労力を大幅に削減することでコスト低減を目指します。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①省力化及び規模拡大を図るためのトラクター、全面マルチ、ブームスプレーヤーの導入支援
- ②作業効率の向上と労務費削減を実現可能とする移植機の導入支援

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・農産物の品質・生産管理マネジメントシステム (Quality Product Management System: 以下QPMSという) を運用し、高品質野菜の生産に取り組んでいる。
- ・黒石市では、地方独立行政法人青森県産業技術センターとの連携協力協定の締結により、地域や農業者が抱える問題に対し、速やかに対応できる体制を構築し、事業を展開している。

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①農産物の安定生産と高品質化
- ②作業効率改善による栽培面積の拡大
- ③労働時間の短縮と生産性向上によるコスト縮減

【事業実施による間接効果】

品質向上による産地確立と有利販売の拡大

